

川島織物セルコン創業 180 周年特別企画

# 「ありがとう そして、未来へ」展

川島織物文化館 2023年9月15日（金）～2024年8月30日（金）



川島織物セルコン創業 180 周年特別企画「ありがとう そして、未来へ」展示風景

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：光岡 朗）は、本社併設の川島織物文化館（京都市左京区）で、創業 180 周年特別企画「ありがとう そして、未来へ」展を 9 月 15 日（金）より開催します。180 年を迎えられた喜びと感謝を、当社のモノづくりを象徴する史資料を通じてお伝えする企画展です。実業家や日本画家など当社にゆかりのある方々を人物相関図でご紹介するほか、政治家の犬養毅、東洋美術史家のアーネスト・フェノロサの書簡をはじめ、川島織物文化館に収蔵している初代川島甚兵衛から四代川島甚兵衛にまつわる貴重な史資料を展示します。

また、本展では、四代川島甚兵衛の携わった逸品として、歌舞伎座の客席に使用されていた椅子張地の試織や、最高裁判所旧庁舎大法廷の壁面図と天井張（格天井の 1 面）の試織、正倉院に伝わる平螺鈿背円鏡へいらでんはいえんきやうから取材した気品漂う紋織丸帯見本裂「正倉院文様」を展示。近藤忠商店（後の株式会社セルコン）が手掛けた貴重な国産レースも公開します。

川島織物セルコンは、本年、おかげさまで創業 180 年を迎えました。その間、多くの方々のご縁に恵まれ、支援をいただき、「記憶に残る、織と美。」を追求してきました。本展を通じて、

創業者の初代、日本の室内装飾の先駆者として織物の創作や技術の改良に尽力した二代、先代の精神を引き継ぎ発展へと導いた三代、四代、そして現在にいたるまで、180 年にわたるモノづくりの変遷を、皆さまへの「ありがとう」の心を込めてお伝えします。また、会期中には、9 月 30 日（土）に休日特別開館を実施します。ぜひこの機会に当館へお越しください。

## 開催概要

タイトル：「ありがとう そして、未来へ」

会 期：2023年9月15日（金）～2024年8月30日（金）

場 所：川島織物文化館

（京都市左京区静海市原町 265）

休 館 日：土・日・祝祭日、夏期、年末年始、

川島織物セルコン休業日

※9月30日（土）は特別開館します

入 館 料：無料

※ ご見学は事前予約制です。

詳細は ホームページ をご確認ください。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

■ 主な展示作品



- ① 初代川島甚兵衛一代記 東翠石筆（明治中期）
- ② 紋織 丸帯 見本裂「正倉院文様」（1942）
- ③ 紋織 川島織物商標タグ（明治中後期）
- ④ 国産パテンレース テーブルクロス（1955）頃
- ⑤ 天津緞通 原画「螺鈿藤原華紋（らでんふじわらかもん）」（1972）頃
- ⑥ 書簡 アーネスト・フェロサ直筆（1893）

## ■川島織物文化館 概要



1889（明治 22）年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のごだわりのモノづくりを紹介しています。

所在地：〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265

株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期・年末年始（川島織物セルコン休業日）

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学希望日の前日16時までに電話でお申込みください。

（※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日）

ご予約専用TEL：075-741-4323

ホームページ：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

・京都バス（50/52系統）「小町寺」下車 徒歩約5分

・タクシー 約10分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約7分

●京都駅より タクシーで約40分

